

令和3年度第2回三島市健康づくり推進協議会議事録

日時	2021年12月23日（木曜日）13:30～15:00
場所	三島市保健センター東館1階
出席者	委員17名中13名、事務局

1. 開会

（市長あいさつ）

- ・委員の皆様こんにちは。本日で第2回となる三島市健康づくり推進協議会だが、年末の大変お忙しい中ご出席いただき真にありがとうございます。日頃は健康行政のみならず、皆様には市政全般に渡ってご理解、ご協力をいただき心から感謝している。ありがとうございます。
- ・新型コロナウイルスの市内集団感染については10月18日を最後に、それ以降は新たな感染者はなく、現在も落ち着いた状況が続いている。ワクチン接種も進み、12歳以上の対象者の86.2%が2回の接種を終えている。また、感染予防対策を徹底していただいた市民の皆様のご協力に心から感謝を申し上げる次第である。
- ・しかしながら全国的には新たにオミクロン株の感染が多数確認されるなど予断を許さない状況もある。三島市としては引き続き市民の皆様にマスクの着用、三密の回避、手洗い消毒などの基本的な対策の徹底と不要不急の外出の回避をお願いするとともに、3回目のワクチン追加接種を円滑に進めていけるよう、医師会の先生方のご協力をいただきながら進めているところだ。これについても全力で取り組んでいきたい。
- ・さて、この三島市健康づくり協議会は市民の健康づくりに関する重要事項を調査・審議する組織であり、本市の健康づくり分野における最も重要な会議だ。本日は主に令和4年度からの10年間の計画期間とする第2次三島市健康づくり計画の案について協議していただく。今回の改定では、本市の健康づくりを総合的かつ分野横断的に取り組みやすくするために食育基本計画、歯科口腔保健計画、自殺対策計画といった他の健康づくり分野の計画も統合し、食育推進会議、歯科口腔保健推進会議、いのち支える地域ネットワーク会議などの会議とも連携を行っている。
- ・第1回の会議ではこの計画の骨子案について意見を頂戴し、その後8月には食育推進会議、9月には歯科口腔保健推進会議、また10月にはいのち支える地域ネットワーク会議でも協議事項とさせていただいており、数多くのご意見を頂戴している。
- ・本日ご提出させていただいた計画案はこれら会議でのご意見も踏まえ、庁内で検討を重ねて作成してきた。
- ・本日はこの計画案について各分野における委員の皆様視点から積極的にご意見を賜りたい。年末のお忙しいところ恐縮だが、より良い計画内容にするため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。
- ・本年1年間、三島市の健康保健行政に携わっている職員に対しても、委員の皆様には暖かなご指導ご鞭撻をいただき心から感謝を申し上げます。
- ・それでは本日の会議についてよろしくお願い申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

2. 協議事項

（1）第2次三島市健康づくり計画原案について

- ・資料1（第2次三島市健康づくり計画原案）について事務局から説明

（A委員）

- ・この計画は、健康づくり課の施策の10年間の検討というスタンスにあるのか。

（事務局）

- ・計画の対象は、三島市全体の健康づくりになる。所管は当課になるが、様々な課で健康づくりに取り組んでおり、実施している事業は当課の事業だけではない。

（A委員）

- ・高齢者福祉（の施策）などが入ってくると混乱してしまうのかなとも思う。最初の1ページは

「人生100年時代」で始まり、「少子高齢化」があつて、指標として「お達者度」という高齢者の指標があるが、例えばこの施策の中で認知症に対する言及がないが、（認知症は）高齢者福祉の問題なのでこれが入ってくると大変なことになるのかなと思った。

- ・今まで過去10年がこの形でまとめてきているのであればそれはそれでいいのかなとも思うが、健康推進部内（の計画）でよいということだろうか。

（事務局）

- ・健康部門（の施策）がすべて網羅されているわけではなく、会長がおっしゃるとおり、子育てや福祉、障害者に特化した部分にまでは踏み込んでいない。第1次三島市健康づくり計画の範囲を概ね踏襲した内容となっている。

（事務局）

- ・例えば、介護保険計画、スポーツ推進計画、高齢者や子育て計画などそれぞれの分野ごとに計画があるが、それらから「健康づくり」という横串で刺したもののだけをここにまとめているということでご理解いただきたい。

（B委員）

- ・基本目標を達成するために、健康づくりを各分野に分け、それぞれに数値目標が設定されているが、数値目標の具体的な設定の仕方について教えていただきたい。

（事務局）

- ・ご質問ありがとうございます。
- ・時間の関係であまり説明していなかったのを改めて説明したい。まず基本目標だが、どういう状態になれば「健康寿命の延伸と生活の質の向上」というこの基本目標が達成できるのかということで、そのためのふさわしい指標として「お達者度」という指標を設定させていただいた。
- ・「5年間で少ししか伸びていないじゃないか」という批判があるかもしれないが、健康づくりの基本目標のほか、各分野の指標についても、現状値から見て実現可能な数値を目標値として設定した。

（B委員）

- ・ありがとうございます。この目標の設定年度だが、今から5年後に設定されているようだが、10年後の数値目標が掲げられていないが…。
- ・もう一点、46ページだが、目標値がその数値「以下」という表記になっている。他の数値目標の表記とは違うが、その違いは何か。

（事務局）

- ・5年後・10年後の数値目標の件だが、この計画は10年計画なので10年後の目標を設定するという考え方はあると思う。
- ・ただし、三島市総合計画も10年計画だが、目標値は5年後に置いている。その理由はこれまでの10年の社会変化が激しく、例えば、10年前はスマートフォンがないような時代だった。そういう時代において、10年後の今がどうなっているのかという評価を昨年までの総合計画では行ったが、今後の10年は（社会変化が）さらに加速することが想定される。それで、総合計画は、まずは中間年である5年後の目標値を定め、5年経過した際にもう一度、さらに5年後の目標を定めるという方式とした（ので、本計画もそれに準拠している）。
- ・次に、「以上、以下」の件だが、これについては、（表記の）統一が取れていないのでご意見はごもっともだ。基本的には「上を目指している」、「下を目指している」ということがわかりやすいように「以上」、「以下」を付け足したが、統一した表記で再度検討したい。

（C委員）

- ・全体をお聞きして、民生児童委員として感じたことを話す。後期高齢者の中には孤独や引きこもりなどひとりでのいる方に対しての訪問や、カフェなど居場所づくりを考えていかなければいけないが、コロナ禍でなかなか実施できない状況だ。
- ・私たちの町内でなかよし体操を来年の1月11月から感染対策をしつつ始めるが、（こうした活動

を) ひとつずつ始めないといけない。高齢化してくると1日が長いようで短い、人との接触がなくなるとひとりでも大丈夫な毎日になってしまうようだ。このため民生委員としては、健康面には留意しつつ訪問等で居場所づくりを支援していくなかでそうした人たちとの交流を持ちたいと思っている。

- ・先日、三島少年サポートセンターの方の研修を受けたが、今、三島市東部では中学生・小学生の犯罪が多いと聞いた。子どもたちも居場所がなく、ゲームなどの影響で犯罪の傾向も変わってくるのだ。
- ・男性は25歳から50歳の働き盛りの人の自殺が多いと言われるが、全国的にみると女性のひとり生活者、子どもは小学生、中学生の自殺が多いと聞いている。「いのちの電話」などをもっとアピールして、言葉を発してもらい、話を聞いてあげられるような場所を提供したいと思っている。

(2) 第2次健康づくり計画における主な課題と今後の取り組みについて

(事務局説明)

- ・資料2 (第2次三島市健康づくり計画における主な課題と今後の取り組み) について事務局から説明

(A委員)

- ・私は腎不全や大腸がんを診てきたが、(この話題が) いつも会議では出るので、一言だけ言わせていただく。
- ・例えば腎不全なら20年前であればクレアチニンという検査値の正常値は男性で1.04までだった。80歳の男性で1.50ぐらいでも何も怖くなかった。大体90歳くらいまでに天に召されるので透析まですることがなかった。それが今、高齢化で透析の技術が飛躍的に進んだので90歳でも透析導入が行われるようになってきた。
- ・40年前、私が医者になったときに透析課の課長のところに行ったら「70歳以上の患者に透析など導入しないよ。認知症の患者さんなどとんでもない」と言われたことを鮮明に覚えている。それが今はなんでもありで、90歳で透析を始めた患者も私の病院にはいる。
- ・本当にそういった時代になってきてしまっている。腎機能障害をケアするのはよいが、今は糖尿病性腎症よりは高齢化による透析患者の方が増えており、これは完全に時代の象徴だ。このことをちょっと頭に留めておいていただけると良いかと思う。
- ・もう1つ大腸がん検診だが、安心したいためだと思うが85歳以上で受診するおばあちゃんがいる。しかし高齢者だと大便が固くなって直腸粘膜に傷がつくとそれで便潜血反応陽性になる場合も結構ある。元気な83、84歳の方なら大腸がん検診を勧めるが、さすがに枯れているおばあちゃんを消化器内科に紹介することはできない。紹介された医者も困るだろうと思う。
- ・(そうした高齢の患者さんには) きちんとフォローする旨の話をして、来年から(検診を) やめさせることも結構ある。検診機関が「あなたはもう検診を受けない方が良い」と言えばよいのかもしれないし、もう1つの手として85歳以上は検診をしないようにするといった意見を出しているが(意見が) 通ったことはない。高齢化に対してそのあたりの対策を考え方ないといけないかなと思う。参考にさせていただきたい。

(3) 第2次三島市健康づくり計画の運用の流れ

(事務局説明)

- ・資料3 (第2次三島市健康づくり計画の運用の流れについて) を事務局から説明

(A委員)

- ・本会議が年1回になること、了解した。

(C委員)

- ・ワクチン接種会場のことで(三島市担当部署の方に) 医師会との連携を含めてお礼を申し上げたい。
- ・ワクチン接種に行った人から、不安で、会場の雰囲気によって精神状態も変わるが、市の方が忙しい中、市民が安心してワクチン接種ができるようにと医師会の方、ボランティアの方と一体に

なってやってくださったという情報をたくさん頂いた。お礼を申し上げたい。

- ・ これからも対策等で笑ってられない状況になるかもしれないが、お互い体に気をつけて頑張りたいと思う。いろいろとお世話をおかけする。ありがとうございます。

(事務局)

- ・ ありがとうございます。このような温かい意見があったことを伝えていただき、励みになる。
- ・ 3回目の接種が今年もあるが、国の方針で急に前倒しすることになり、当初予定していた窓口での受付から、体制が整う日より前から予約ができるようになった。またご迷惑をおかけすることがあるかもしれないが、承知頂ければと思う。

3. 閉会

以上